

## 第51回衆議院議員選挙の結果を真摯に受け止め信頼回復へ 立憲民主党自治体議員として地域に根ざした「まっとうな政治」を

このたびの衆議院議員選挙直前の1月15日、突然に立憲民主党の衆議院候補者が離党し「中道改革連合」に合流しました。私たち自治体議員にとっても寝耳に水の出来事で、有権者のみなさまに一切説明ができなかったことをお詫び申し上げます。立憲民主党埼玉県総支部連合会は、仲間であった中道改革連合候補者への支援を決定し選挙戦に臨みましたが、極めて厳しい結果となりました。理念や政策の共有、有権者への説明を欠いた拙速な合流に対し、多くの方からご批判をいただきました。

市議会においては、公明党は市長与党として、私たち立憲・歩みの会は市政の問題点を掘り起こし、改善を働きかける是々非々の立場で、それぞれに重要な役割があり、引き続きその役割を果たします。私は党に対し、重要事項が国会議員のみで決定されるような手続き軽視の体制から、地方の声が反映される組織に改め、国民に信頼される党になるよう働きかけているところです。



## 武力による解決に反対し対話による平和を目指す決議を採択

2026年第1回定例会において「アメリカ・イスラエルによるイラン攻撃に抗議し即時中止を求める決議」が提案され、会派「立憲・歩みの会」も賛成し、総員賛成で採択されました(日本維新の会議員1名が退席)。

他国の国家指導者を標的とした攻撃や、国際紛争の解決に武力を用いることは、国際法違反の疑いが極めて大きく、断固として反対です。何より、戦闘によって子どもたちを含む多くの民間人が犠牲となっている現状は、決して許されるものではありません。

日本は戦闘停止と対話による紛争解決を呼びかけ、世界平和に貢献すべきであると考えます。

私、本田まきこは、自治体議員として人々が安心して暮らすまちづくりに取り組むとともに、その土台となる世界平和を目指す政治も大切にしていきます。



本田まきこ

1973年生 前職は教育委員会所属のカウンセラー。公認心理師・社会福祉士。民生常任委員会所属。



朝霞市議会議員

# 本田まきこ

## 2026年春号 つながる通信

立憲民主党

本田まきこをつなぐ会  
〒351-0006 朝霞市稲荷台7-41-27 コートエスベランガ202

☎ 080-7142-1003

✉ info@hondamakiko.com

## 北朝霞駅西口ロータリー広場化、いま進めるべきか？ —2026年度一般会計予算案に対し修正案を提案するも否決—

朝霞市2026年度一般会計予算案は、全体としてはバラマキを抑えた堅実な内容でしたが、私は、「北朝霞駅西口ロータリー広場化事業」には問題があると考えます。市は東武鉄道と「朝霞台駅再整備に伴う朝霞台駅周辺エリアにおけるまちづくりに関する協定」を結びました。北朝霞駅西口の整備は、本来、新しくなる朝霞台駅のデザインや機能と一体的に検討されるべきものです。全体のグランドデザインが見えないまま、ロータリーの広場化だけを先行させる今の進め方には、強い違和感を覚えます。会派「立憲・歩みの会」は、この事業費を削減する修正案を提案しましたが、賛成少数で否決されました。これを受け、会派として一般会計予算の原案には反対しました。



北朝霞駅西口ロータリー  
通称「にんじん広場」

三原・弁財地域の市民が待ち望んでいた「福祉複合施設」の建設は、協定を締結を受けて一度立ち止まることになり、「もっと丁寧な説明がほしい」「納得と合意を大切にしてほしい」との声をうかがっています。市は、朝霞台駅新駅舎のフロアを借りた公共施設を検討するなど、駅舎改築と周辺整備は、何十年先までのまちの姿を決め、多額の税金が投入されるものです。引き続き、市民の声の反映と合意形成を求め、市政を厳しくチェックしていきます。



朝霞台駅ホームの上に建築予定の新駅舎に市が高額の賃貸料を払う可能性も答弁されています。